

教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	静岡大学	申請分野(系)	理工農系
教育プログラムの名称	マニフェストに基づく実践的IT人材の育成		
主たる研究科・専攻名	情報学研究科情報学専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取 組 実 施 担 当 者	(代表者) 伊東 幸宏		

[教育プログラムの概要]

1. 育成する人材像： 急速な勢いで多様化する情報社会が直面する諸課題の解決のため、情報科学技術と情報社会学を融合した立場から問題解決を計画実行できる実践的IT人材が求められている。本教育プログラムでは、社会からの**実践的IT人材**育成の要請を、マニフェスト（入学時から修了時までの授業・研究指導・学生主体活動で獲得できる能力と、修了後の活躍できる場とを明確にした約束）を用いた大学院教育の実質化によって達成する。**実践的な人材は、基礎学力と研究力を基盤とし、組織運営力、国際適応力、キャリアデザイン力をも兼ね備えることが必要である（前の2つとあわせて五力と呼ぶ）。**本プログラムは、情報科学から情報社会までの**三つのタイプの五力を備えたIT人材**、すなわち情報科学に関する系統化された高度な知識と技術を習得した**CS (Computer Science; 計算機科学) 人材**、様々な社会組織を多面的に分析し情報システムの計画、設計、開発、運用、評価、改善ができる**IS (Information Systems; 情報システム) 人材**、ガバナンスを基本コンセプトとして情報社会の問題を発見・分析し解決策を提言できる**ID (Information Society Design; 情報社会デザイン) 人材**の育成を目的とする。本プログラムは二段式構造をなし、**情報学研究科修士課程**では基礎学力・研究力を中心とした**五力人材**、**自然科学系教育部博士課程**では更に高度な五力の全てを備えた**スーパー五力人材**を育成する。

2. 背景： **情報学研究科修士課程**は、平成12年度に情報学に関する専門的職業人を養成することを目的として設置された。その母体の情報学部は、平成16年度から特色GPの支援を受けて3プログラム制（CS・IS・IDプログラム）を導入した。情報学研究科も平成20年度から3プログラム制を実施し、三つのタイプのIT人材を体系的に養成できる制度を整えた。また、**自然科学系教育部博士課程**は平成18年度に新設された創造科学技術大学院の教育部門であり、上述のCS・IS分野の教育が行われている。創造科学技術大学院は、学生が所属する自然科学系教育部と教員が所属する創造科学技術研究部を分離した先端的な組織である。教員の多くは両組織に専任・兼任として所属し、両課程で連携して教育が行える体制となっている。

3. プログラムの概要： 修士課程・博士課程それぞれに、入学から修了・社会までの**キャリアパスのモデル**、授業等の位置づけを明確にした**カリキュラムマップ**、授業などで獲得できる**五力のコンピテンシーマップ**を、マニフェストとして学生に周知し、学生は自らが描く**キャリアパス**に沿った教育内容を選ぶ。マニフェストと実際の教育活動の成果は学外組織の『アドバイザー会議』により、支援・評価される。

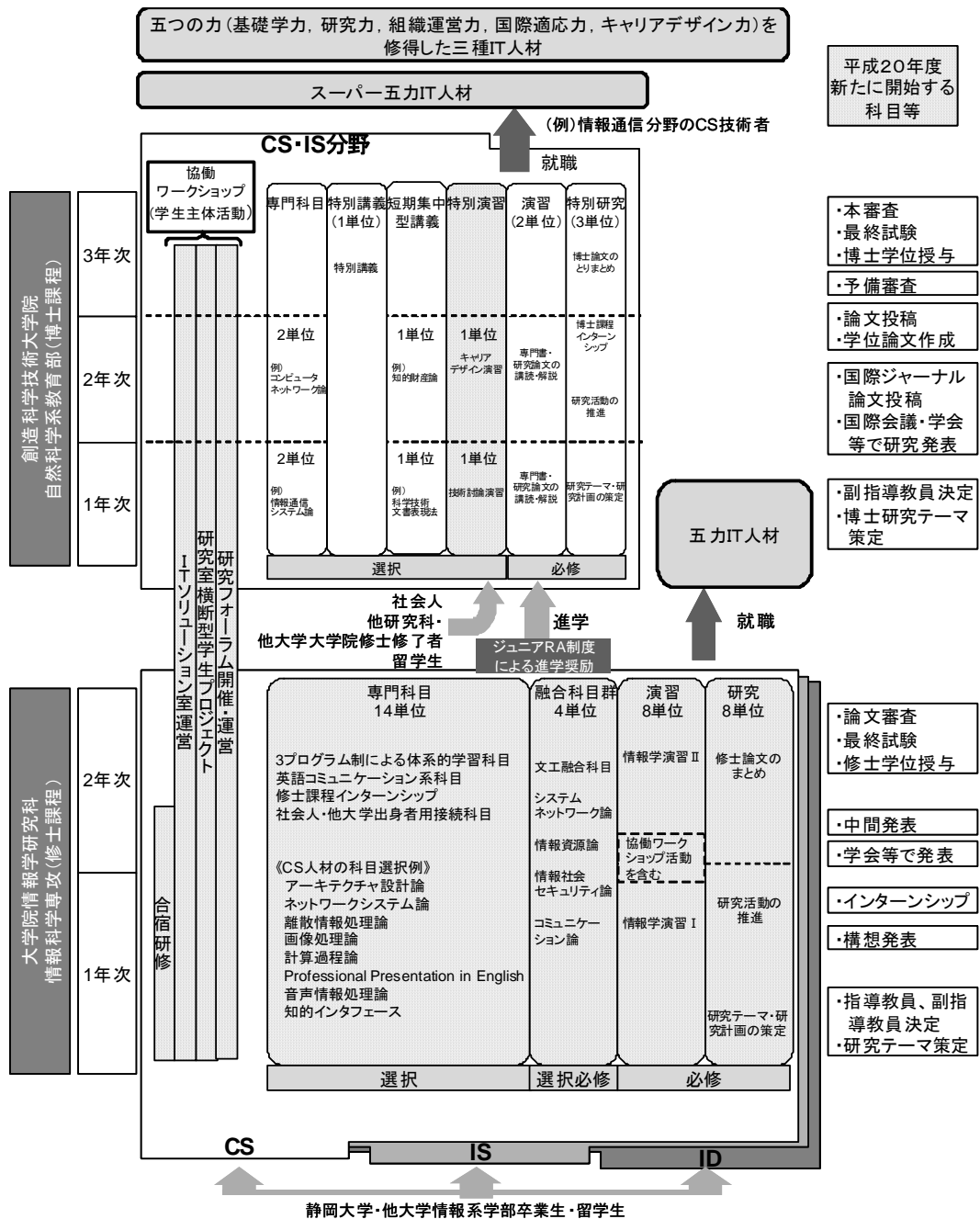
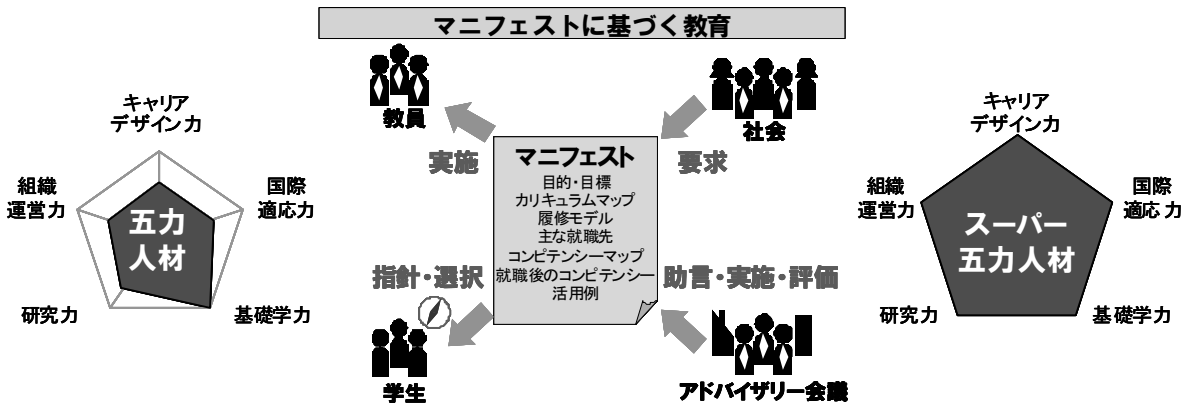
基礎学力・研究力の育成は、両課程教育の根幹をなす。修士課程では、3プログラムごとの体系的な専門科目、情報科学と情報社会学からの多角的視点を養成する融合科目、情報学研究・演習を通して基盤を養成する。博士課程では、CS・IS分野を中心に、専門科目と共に周辺分野の知識を学ぶ新領域科目、知的財産論や経営論等の実践的な基盤的共通科目により基礎学力と研究力を深化させる。

国際適応力の育成を、ネイティブ教員による修士課程・博士課程での英語コミュニケーション系科目と、さらに博士課程での国外派遣支援により行う。**組織運営力**は、博士課程・修士課程学生による自主的・自発的な**協働ワークショップ（学生が主体的に活動する場）**を組織させ、研究フォーラムの開催、研究室横断型学生プロジェクトの実施、ITソリューション室の運営を行わせることによって育成する。特に博士課程学生のリーダーシップ育成を重視する。さらに**キャリアデザイン力**養成のために、キャリア支援室・情報学部客員教員陣を活用して学生の適性に応じた柔軟な支援を行う。

修士課程学生による研究補助のためのジュニアリサーチアシスタント謝金、博士課程学生による研究補助のためのリサーチアシスタント謝金により学生の経済的支援も行う。

静岡大学：マニフェストに基づく実践的IT人材の育成

履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)



- 静岡大学・他大学情報系学部卒業生・留学生
- 博士課程 修了要件
 - 必修5単位(演習2単位、特別研究3単位)、選択6単位以上、(専門科目から2単位以上選択必修)計11単位以上の取得。第一著者の査読付き学術誌論文1編の掲載。予備審査・本審査・最終試験の合格
 - 修士課程 修了要件
 - 2年以上の在学。34単位以上(必修16単位、選択18単位(うち選択必修4単位以上))の取得。修士論文審査・最終試験の合格

< 採択理由 >

大学院教育の実質化の面では、教育面、経済面、キャリアパスと多面的な大学院生への支援体制が用意されている点や、組織的な自己点検・評価体制が整備されていることは評価できる。

教育プログラムについては、研究科の人材養成目的を具体化し、情報科学技術と情報社会学を融合した立場から問題解決を計画実行できる3つのタイプ（CS（計算機科学）人材、IS（情報システム）人材、ID（情報社会デザイン）人材）の実践的IT人材の養成を目指し、マニフェストという形で大学院で獲得される能力と活躍可能な場を明確にするとともに、プロセス管理によって人材育成が確実に進められるように計画されている点は評価できる。また、具体的な教育課程とコンピテンシーが明示され、学生にとってわかりやすいプログラム編成となっており、その実現性、実効性が期待できる。更に、本教育プログラムの大学全体の中での位置付けも明確にされており、今後の展開も期待できる。